



「平成 28 年度 給食研究会」報告



- 【期 日】平成 28 年 6 月 7 日(火)
【会 場】マリトピア
【主 催】佐賀県保育会
【参加者数】168 名



【内 容】

研修 1 『基調報告』

講師 指山 健次郎 氏 (佐賀県保育会会長)

- 1、佐賀県保育会とは
- 2、保育を取り巻く状況
- 3、保育園における食育
- 4、給食の先生方へ

子どもの食べている様子を見る事も大事である。

研修 2-1 給食研究発表

唐津地区 唐房保育園

命を育む食事作り ～子供達の健やかな成長を願って～

完全給食・一汁三菜・有機栽培・無農薬食材・肉魚卵は、使用しない。

旬の食材を使って素材に味を損わないシンプルな調理法や味付けで提供している。

東部地区 市立西郷保育園

食育への取り組み ～食育媒体作り及び園児への栄養指導～

箸の持ち方・食事のマナー・噛む力・水分補給について

多久地区 とうぶ保育園

～一年を通して～ 園の取り組み

春・夏・秋・冬に分けての取り組み



研修2-2 「～佐賀の生涯食育～皆様の活動に期待」

講師 澤野 香代子 氏 (元西九州大学 教授)



三ヶ園の発表についての評価をしていただく

食育の基本は

園児の健全な心身の成長
命に育ちを食の面で支援する。
食べる意欲を大切に食の体験を広げよう。



佐賀の生涯食育 (命の育ち)

食の面からの支援
食を営む力
食べる意欲を大切にする。
食育で目指す子どもの姿。
味がわかる。 感謝できる。
料理ができる。 おいしく楽しく食べるマナー



(効果及び評価)

食べる意欲を大切にし、食の体験をひろげ、食べ物の育ちを伝え調理し
おいしく楽しく食べるマナーを伝える事が大切である。

研修3 「地域と連携して進める食育」

～楽しく美味しい食事で子どもの心身の健康を～

講師 野口 孝則 氏 (国立大学法人 上越教育大学大学院 教授)



食育とは

- ・食育について 学→考える→実践する→改善する→続ける
家庭や地域における食育推進の大切さ
- ・食育の面白さと楽しさ(同時に難しさ)
体と心の健康は食からという言葉の意味は？
についての講演。



(効果及び好評)

先生の話しの中でまず、園でのハードルを見つけ、手だてを考え失敗を乗り越えてスナップを踏んでいくことが大切である。

また、地域との連携ということで、これまで見えていなかった自分たちの周囲を見直し、地域の機関を利用することで色々な体験が出来たり、知識を吸収できることをくわしく知ることができた。



(文責 伊万里市 中里保育園 富永 美保子)